

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	NO52	現在、歩行器、車椅子を使用し移動される方が多いため、移動時は転倒の危険性がある。	①移動を行う際は車椅子、歩行器使用者に限らず、全利用者に対しての声掛け、見守り誘導を行い安心して移動ができるようにする。②利用者が使用している歩行器や車椅子が適切かどうか検討する。	①常に移動時は見守りを行う。 ②障害物がないか確認し移動時はマットや靴など歩行の邪魔にならないように配慮する。 ③椅子に腰ける際は転倒に気を付けながら介助していく。	12ヶ月
2	NO49	地域の商店を利用したり、近所の方と交流を持っていますが、買い物や園外散歩を増やし生きがいをみいだしていく。	①買い物や園外散歩を随時行う。 ②すべての利用者に園外散歩行うよう声掛けを行っていく。	①利用者の希望に応じて散歩や買い物に行く。 ②家族対応にてお墓参りなどの支援もしていく。	12ヶ月
3	NO35	災害対策は昼夜の訓練を増やし介護職員や利用者さん共に理解を深めるように努力する。近隣の住民などにも声掛け参加してもらおう。	①災害訓練の回数を増やす。(年3回～6回) ②出来るだけ近隣住民にも声掛け行い参加を促していく。 ③消防署との連携を行った訓練を行う。	①文書を作成し近隣住民への訓練時の呼びかけを行っていく。 ②火災訓練、地震訓練を年6回行っていく。 ③消火器、火災通報装置の使い方などを学ぶ。 ④消防署との連携により避難の方法などを学ぶ。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。